

# ぜっ校長!

第5号…どんな10連休でしたか?

2019(令和元)年5月8日(水)

稲羽中学校 校長 江口 雅明

## 【校長のつぶやき】『令和』明けましておめでとうございます?!

▼よくアニメなどの番組が始まると、「テレビを見るときは部屋を明るくしてテレビから離れて観てください」というテロップが出されますが、これから読んでいただく【校長のつぶやき】については、「イライラしないで、おおらかな気持ちでお読みください」と前もって言うておきます。▼5月1日、日本の元号が「平成」から「令和」に改められました。私の祖母が亡くなったとき、「明治～大正～昭和を生き抜いたおばあちゃんはすごい!」と手を合わせたのを思い出しました。ならば、私は「昭和～平成～令和を生き抜いてすごい!」ってほめられるのかな…そんなわけですね。保護者の皆さんも“昭和生まれ”ですよね。だから考えたのです。「私も天皇陛下と“同い年”。ならば、次に年号が改められるまで頑張って生きちゃおう!」って。あっ…不謹慎でしょうか?▼「平成」から「令和」が変わるとき、日本ではいろいろな“珍事”が起きました。つくづく日本人は“カウントダウン”とか“どんちゃん騒ぎ”が好きですね。どうしてもっと静かに、「いよいよ元号が替わるんだなあ」としみじみ思いながら過ごせないのでしょうか? 中には「令和」になった瞬間に大阪・道頓堀川に飛び込んだ…と思ったら、ちょうど通りかかった遊覧船の中に落ちた方がいるとか。季節はずれの「郡上おどり」に、日付が変わると同時に役場に婚姻届を提出する“令和婚”?…いろいろでした。▼「昭和」から「平成」に改元された時に、全国的に有名になった岐阜県武儀郡武儀町(現:関市)の「平成(へなり)地区」では、元号が改められたことで「平成」が忘れ去られることのないようにと、“平成最後の空気(平成31年4月)”を缶に採取し、「令和」時代でも良いご縁があるよう祈りを込め“平成の五円玉”を入れ、空気と五円玉を密封した缶詰『平成の空気缶』と称し、定価1,080円(税込)で販売しているとか…“生き残り”に賭けた情熱を、単に“ぼったくり”と受け止めるのかどうかは人それぞれですね。(ちなみに私は絶対に買いません!)▼5月1日の朝、私は文部科学省からの通達に従い、(休日だというのに)学校に出てきて、国旗掲揚塔に日の丸の旗を掲げました。“働き方改革”が叫ばれている中、文科省は「教職員は超過勤務が多すぎる!」「部活動も削減して、もっと休暇をとるべきだ!」と言いつつ、職員に「祝日に学校に出てきて国旗を掲揚せよ!」と言っている。怒っても仕方がないので…新しき時代「令和」が、戦争の恐怖に怯えることなく、大災害のない、平和で安心して過ごせる時代になりますように…♥



## ☆『誇れる自分』になってほしい!

▼4月が終わったばかりだというのに、もう「ボランティア手帳」の1冊目(ボランティア50回)を完了させた生徒が4名もいます。今年度は、認証状を校長室の廊下に掲示します。『誇れる自分』が掲示板にずらりと並ぶことを夢んでいます。

【ボランティア50回達成者】 ※敬称略

◎園田 響(3-3)

◎中村 蒼葉(3-3)

◎荻谷 明里(3-3)

◎丹羽 駿斗(3-3)

